

インスタチャレンジプロジェクト「#プラかん」

代表者	経済学研究科 教授 鵜飼宏成、人間文化研究科 准教授 曾我幸代
連絡先	ukai@econ.nagoya-cu.ac.jp
連携・協力者	なごや環境大学実行委員会・名古屋学芸大学
ポイント	なごや環境大学実行委員会と複数大学の大学生が連携し「#プラかん」で脱プラ運動をSNSで展開

1 概要

- ・コロナ禍の暮らしでプラスチック需要が高まる中、自宅にしながら学生でもできるSNS版の環境活動「#プラかん」プロジェクトを実施しました。「プラかん」はプラスチックを別のものに置き換える「換」、環境や循環の「環」の意味を込め、本学の学生が名付けました。なごや環境大学・企画チームに参加する本学人間文化研究科教員による起案のもと、本学学生や他大学の教員、なごや環境大学ユースクラブメンバーが呼応し、実施に至りました。

2 活動内容

- ・令和2年の7月から8月にかけて、参加者計76人がプラスチックごみに関する写真に「#プラかん」を付けてインスタグラムに投稿しました。「プラスチックに頼ってばかりの生活に気づかされた」「個包装だとごみが多くなります」等のコメントを付けた写真のほか、使い捨てでない製品の積極活用やマイストローを持ち歩こうといった生活の見直しを提案する投稿も行われました。



インスタグラムに「#プラかん」をつけて投稿された写真

3 成果

- ・同企画期間内で約150件、300枚以上の写真が投稿され、投稿した学生の中からは「この投稿を始めてからプラごみが減った」との声も聞かれました。なごや環境大学実行委員会事務局からのプレスリリースにより活動が周知され、その成果は、「なごやのエコを応援する環境情報紙『リサ(Risa)』10月号(令和2年)」に掲載されました。